

広臨技からのお知らせ



臨地実習指導者講習会

- 臨床検査技師等に関する法律、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の交付(令和3年3月31日文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長)並びに臨床検査技師養成所指導ガイドライン(令和3年3月31日、厚生労働省医政局長通知)が施行されました。
- 2022年4月入学生から臨床検査技師養成施設等の教育内容が見直され、新たに臨地実習の充実が図られ、臨地実習を行う場合は、臨地実習指導者講習会を受講した者が1名以上設置された施設で臨地実習を行うことが義務付けられました。
- 「臨床検査技師臨地実習指導者育成協議会」を発足し、臨床検査技師向け臨地実習指導者講習会を「臨地実習指導者講習会プログラム」に基づき開催をしていくことになりました。



臨地実習指導者

- 臨地実習施設には厚生労働省指定の臨地実習指導者講習会を受講した勤務年数5年以上の臨床検査技師が1名以上の設置が条件。
- 日本臨床衛生検査技師と日本臨床検査学教育協議会では「臨地実習指導者育成協議会」を発足し、臨地実習指導者講習会の開催
- 事前にWeb講習会(510分)を受講・修了
- ZOOM によるグループワーク

2022年3月	
開催日	支部
6(日)	中部圏支部
13(日)	中四国支部
20(日)	首都圏支部

新施設認証制度

■ 旧

日臨技 精度保証施設認証制度 2010年4月1日～

■ 新

日臨技 品質保証施設認定制度 2022年6月1日～

1. 「医療法の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 57 号）」を遵守することを基準とする。
2. 現行の認証対象である「臨床化学」及び「血液」2 部門から、最大 10 部門（臨床化学、血液、一般、免疫血清、微生物、輸血、生理 4 分野、遺伝子、細胞、病理）まで拡大する。
3. 臨床検査標準化に向け、自施設の検査体制を構築し、さらに「当会の実施する外部精度管理調査」に継続的・積極的に参加し、その精度が一定以上の基準を満たし、さらには是正改善に積極的に取り組まれていることが確認されること。

改訂点

- 2部門(臨床化学・血液)の認証から10部門の認証に拡大する
- 施設を認証する
- 是正改善の積極的な取組を評価する
- JAMTQCを有効活用する
- 審査費用+認証料(部門・分野数) = 上限5万円
- 認証期間 2年間
- 日臨技精度管理調査において、全参加項目(2年分)の90%以上の正解率
- 生理部門は、4分野ごとに認証

部門	分野	審査基準など
臨床化学		ドライケミストリー法とウエット法項目の混在でも、ドライケミストリー法のみでの参加でも可 両方参加の場合はウエット法を優先
免疫血清		実施部門が変更となっても2年連続実施している項目は評価対象とする 例) 免疫グロブリン (igGなど) は2022年度からは臨床化学で評価、臨床毛額の認証項目とする
微生物		グラム染色を実施し、調査に参加していること
血液		ヘモグロビン濃度、血小板数、白血球数、赤血球数、ヘマトクリット値、MCVの6項目に参加していること
生理	心電図 超音波 呼吸機能 神経生理	生理部門は4分野ごとで認証する
輸血		血液型 (ABO、RhD) 総合判定が正解していること
病理		基本設問 (10問) に参加していること

令和4年度診療報酬改定

- Ⅲ 患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現
- Ⅲ－1 患者にとって安心・安全に医療を受けられるための体制の評価や医薬品の安定供給の確保等

⑥質の高い臨床検査の適切な評価

- (新) 報告書管理体制加算(退院時1回) 7点

医療機関の画像診断部門や病理診断部門が医療安全管理部門と連携し、画像診断報告書や病理診断報告書の確認漏れ等の対策を講じ、診断又は治療開始の遅延を防止するための体制を整備している場合の評価を新設する。

(4)医療安全対策に係る研修を受けた専任の臨床検査技師又は専任の

診療放射線技師等が報告書確認管理者として配置されていること。

(5)組織的な医療安全対策の実施状況の確認につき必要な体制が整備

- 現行

- 【がんゲノムプロファイリング検査】

- 1 検体提出時 8,000点

- 2 結果説明時 48,000点

- 改定案

- 【がんゲノムプロファイリング検査】 44,000点

- アルブミン(BCP 改良法・BCG 法)のうち、BCG 法によるものについて、臨床実態等を踏まえ、算定可能な期間を2年間延長する。

- 白癬菌抗原定性 イムノクロマト法

- D012 感染症免疫学的検査「43」水痘ウイルス抗原定性 (上皮細胞)

- 【検査の例】(新) 微生物核酸同定・定量検査

- サイトメガロウイルス核酸定量 450 点

- 2月15日談話より

- 静脈血採取料2点引き上げ

- 鼻腔・咽頭拭い液採取が20点引き上げられる



JR広島病院 黒島慎太郎 撮影

令和4年度中四国支部医学検査学会 (第55回)

会 期：令和4年10月22日(土)・23日(日)

会 場：広島国際会議場

テーマ：メインテーマ 共創「Co-Creation」

サブテーマ「知識」「技術」「信頼」

学会長：米田登志男(広島赤十字・原爆病院)

実行委員長：有谿俊一(済生会呉病院)